くつろぎたいむ

第26号（2008年 秋号）松江赤十字病院

松江赤十字病院『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただくことが必要です。」

このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

「ピンクリボン運動 in 松江」開催

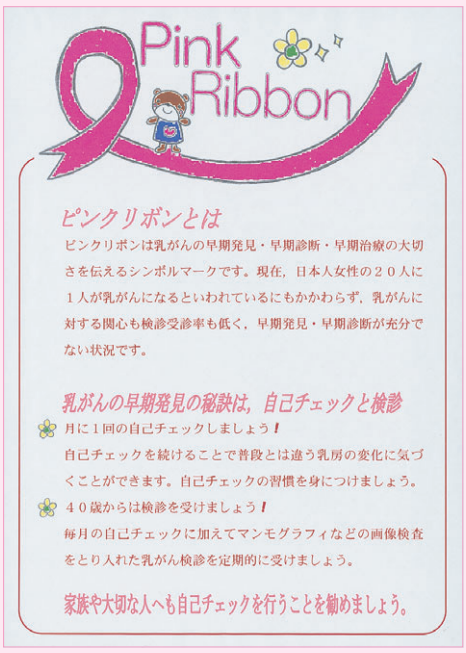
乳がんの撲滅と検診の啓発をすすめる取り組み

十月二日の夕方、松江テルサがピンク色に浮かび上がりました。十月は乳がん月間です。全国的に拡がりをみせている「ピンクリボン運動」を、ここ松江でも開催したいと当院乳腺外科とがん相談支援センター、消化器外科病棟のスタッフが企画し、行政やボランティアの協力を得て開催することが出来ました。

「ピンクリボン運動」は、乳がん検診の受診率を高め、早期発見・早期治療で一人でも多くの命を救おうという目的ではじまった運動です。当日は、ライトアップされた松江テルサをバックに、ゴスペルの美しいメロディーが流れる中、スタッフみんなでピンクリボンを飾ったパンフレットを市民のみなさんに手渡しました。さらに松江テルサの館内では乳がんに関するパネルや実際にシコリがどのような物か体験できる「触診モデル」のコーナーも設けました。この運動でたくさんの方に乳がんがどういう病気か、そして早期発見で決して恐ろしい病気では無くなることを理解してもらい、より一層乳がんへの関心を高めてもらえればと思っています。

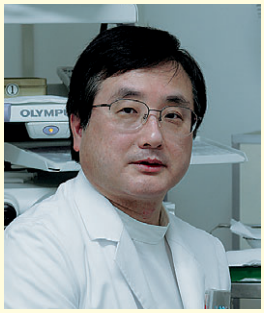
当院は四月より乳腺外科を開設しました。医師・看護師・コメディカルなど多くの職種が連携し、チーム医療を行っております。早期発見のため「自己検診」や「乳がん検診」をしましょう。

がん相談支援センター　奥　公明



診療科紹介

総合診療科



最近の医学の進歩には目を見張るものがあり、医療は高度に専門分化する傾向にあります。当院内科におきましても糖尿病・内分泌科、血液・免疫・腎臓内科、消化器内科、循環器科、呼吸器内科、神経内科に細分化されています。しかし、多彩な症状を持った患者さんがたくさんおられることも事実であり、専門知識に詳しくない患者さんが何科を受診すればよいのか判断に悩まれることも多いと思われます。通常、家や職場の近くにある一般診療所の先生が初期診療を担当されることが多く、当院は島根県東部における急性期病院として一般診療所の先生から必要に応じて各専門科に紹介していただき高度専門医療を行う役割を果たしています。しかし、最初から当院での診療を希望され受診される患者さんもおられます。

総合診療科は病院の入り口です。

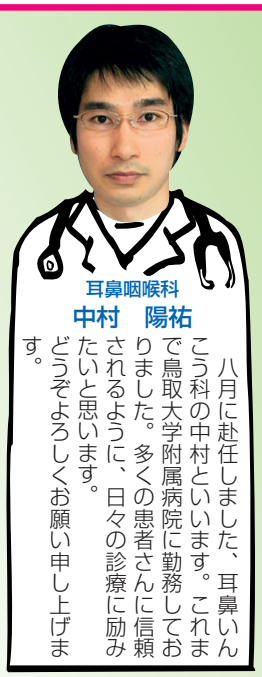
紹介状を持っておられず、何科を受診して良いのか判断に困る患者さんがまず受診していただく診療科（内科系）です。「プライマリ・ケア」として特定の臓器に限らず、全人的・総合的に診療を行うことを目標としています。そして、診察および必要な検査を行った上、専門科での診療が必要な場合は速やかに紹介します。各専門内科の診療も行っている一般内科医として経験豊富な医師、幅広い知識を持った医師が担当しています。病院の検査機器を利用できるため，一般診療所と入院専門診療の中間に位置する内科系の病（やまい）を持った方の診療を提供することが可能と考えています。

「プライマリ・ケア」の「プライマリ」とは初期、近接、常在、基本、本来という意味ですが、プリマ（主役）を語源とするとも言われ、「重要な」という意味も含まれているようです。また、「ケア」には世話、管理、注意、配慮、といった意味があります。したがって、医療における「プライマリ・ケア」とは、患者さんが最初に接する医療の段階であり、それが身近に容易に得られ、適切に診断処置されること、および、それ以後の療養について正確に指導されることが要求されています。医療の入り口できちんとした診療を行うことが患者さんにとって大きな利益に繋がると思われます。総合診療とは基本的には外来内科学であり、患者さんの心身にわたる様々な症状に誠意ある態度で耳を傾けて可能な限り外来での初期治療に当たります。

当科部長の井上は元々消化器内科専門医です。井上が総合診療科外来を担当する水曜日には、他院で検査を受けたにもかかわらず原因がわからなかった、異常なしと言われた腹部症状のある患者さん（機能性胃腸障害など）についても、多方面から原因検索を行い、より適切な医療を行いたいと考えています。原因不明の腹部症状でお困りの方はご相談ください。また、種々の胃の病気と関係しているヘリコバクターピロリ（細菌）に関するご相談にも対応させていただきます。

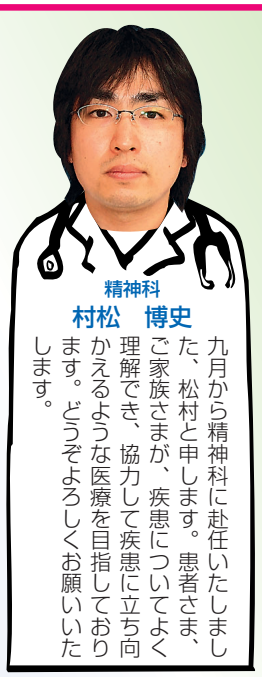
繰り返しになりますが、「総合診療科は病院の入り口の外来」です。お困りのことがあれば、まずご相談ください。

7～10月医師紹介



耳鼻咽喉科
中村　陽祐

八月に赴任しました、耳鼻いんこう科の中村といいます。これまで鳥取大学附属病院に勤務しておりました。多くの患者さんに信頼されるように、日々の診療に励みたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

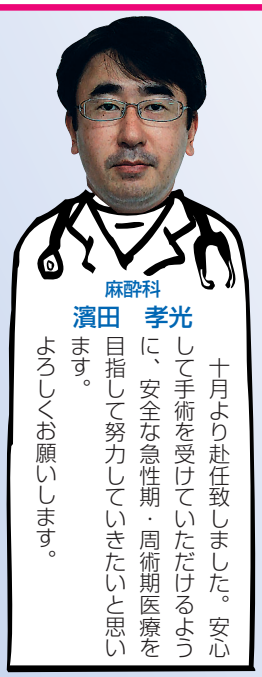


精神科
村松　博史

九月から精神科に赴任いたしました、松村と申します。患者さま、ご家族さまが、疾患についてよく理解でき、協力して疾患に立ち向かえるような医療を目指しております。どうぞよろしくお願いいたします。

歯　科
田窪　千子

十月から松江日赤に勤務しております。鳥取県で八年半勤務し、このたび故郷の松江に戻って参りました。齲蝕、歯周病、義歯はもちろん、口内炎、口の中のできものなどお困りの事がありましたら、お気軽にご相談下さいませ。



麻酔科
濱田　孝光

十月より赴任致しました。安心して手術を受けていただけるように、安全な急性期・周術期医療を目指して努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

こんにちは!! 外来看護相談コーナーです

外来師長　星野和子

今年六月から外来患者さまやご家族の方が、不安や悩みを相談できる場所として開設しました。

場所
本館1階
診療案内カウンター

開設時間
平日13：30～16：00
（予約不要）

相談員
外来看護師
必要に応じて認定看護師、保健師、助産師、ケースワーカー、薬剤師、栄養士など

相談内容
●生活に関すること（療養生活全般、移動、衣服の着脱、褥瘡処置など）
●症状に関すること
●治療、検査、処置に関すること
●食事に関することなど

＊相談は無料です。
＊相談内容や個人のプライバシーを厳守いたします。

六月から開始して、毎日約十～二十五人の方にお声を掛けて頂きます。その約九割が、道案内や受付案内です。この現状から、病院内の案内や受付の掲示が分かりにくいということが見えてきます、今後は利用していただく患者さまやご家族の方の視点で分かりやすい掲示に改善していく必要があると考えています。

また、本来の看護相談としては、症状による受診科相談や退院後の在宅での車いす相談、他院から当院へ転院希望、がんサロンへ寄付希望、入院費の相談などあらゆることがあります。まさに「よろず相談窓口」です。担当看護師だけで解決できることばかりではありませんので、サポートしてくれる他のメンバーと協力してできるかぎりの対応をし、少しでも安心していただけるように努めております。

療養上でご心配なことがありましたら、お気軽に看護相談コーナーにお立寄り下さい。

認定看護師の紹介

救急看護認定看護師　中筋真紀

“もし、あなたの大切な人が、突然目の前で倒れたら、救うことができますか？”

そんな時も慌てることなく行うべき最初の処置が“心肺蘇生法”です。心肺蘇生法とは、意識がなく倒れている人を発見したら、まずは声をかけて意識を確認し、人や救急車を呼び、必要な物を集めます。そして、呼吸や脈がなさそうであれば、人工呼吸・心臓マッサージをおこなう処置をいいます。必要な物として不可欠なのが、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）といい、皆さんご存じのとおり最近は街中で見かける機会も多く、一般市民の方々の使用も可能となっています。先日県内でも、マラソン大会に出場していた六十代の男性が一般市民による蘇生で救命され、ほとんど障害を残すことなく社会復帰されています。

私は救急看護認定看護師として、病院職員はもちろん、地域の皆さまも適切な心肺蘇生法が実施できるようサポートしていく役割があります。院内では、病院職員を対象とした講習会を毎月おこなっていますが、今後は地域にも出向き、さらに積極的に活動していきたいと考えています。

また、救急場面は、人・場所・時を選ばず突然訪れ、患者さま本人だけでなく、家族や周りの方々にも多大な不安や苦痛を与えます。そのような状況に陥った場合も、救急医療に携わる者として専門的な知識・技術を活かし、医療スタッフ全員で高度な急性期医療を提供し、地域の皆さまが安心して訪れることの出来る病院づくりに努めていきたいと考えています。

“心肺蘇生法に自信がないんだけど……。”

“こんな時は、どう対処したらいいの？”など、何でも結構です。わからないことがあれば、いつでも気軽にお声をかけてください。

今後ともよろしくお願いいたします。

～☆料理の世界☆～

庶民の味方『秋刀魚』

栄養課　奥野　将徳

▲秋刀魚の刺身

秋刀魚は血液の流れを良くするEPA、脳の働きを活発化させるDHA、ビタミンB_2を多く含んでいます。新鮮なものは刺身にしたり、塩焼き、煮つけにするには、梅干、山椒を加えて煮れば臭みが消えておいしくなります。

秋には秋刀魚、秋鮭、秋鯖など「秋」の字を冠した魚が旬を迎えます。その中でも秋刀魚は値段も安く、おいしく、私達にとってありがたい存在です。スマートな姿、銀白色に光る腹が刀を想像させ、秋に獲れる魚であることから「秋刀魚」と書きます。最近は旬の時期がわからなくなっています。この秋刀魚も、スーパーなど店頭に並べる早さを競いだし、夏の暑い頃から出回っています。

でも、秋刀魚といったら塩焼きが一番、大根おろしとしょうゆ、すだちでも絞っていただけば最高でしょう。秋刀魚を選ぶ時は身がかためでハリがあり、腹の部分がたれていないのを選んでください。雄より雌の方が美味しく、雌は下あごがオリーブ色で、先が丸みをおび、雄はオレンジ色でとがっています。買う時にちょっと気にして選ぶのも楽しいのでは。大漁すぎて値段が安くなりすぎるのを防ぐため禁漁になる秋刀魚。安くて栄養満点の秋刀魚と、実りの秋の代表でもある新米となら毎日食べても飽きないのではないでしょうか。

▲変わり天むす

▲秋刀魚の友腸焼き

すこやか会　秋の一泊レクリエーション

世界遺産 石見銀山を訪ねる旅に行ってきました!!

すこやか会は、糖尿病で治療中の患者様やご家族・医療スタッフとともに活動している会です。

毎年恒例の一泊旅行。今年は九月二十日～二十一日に、世界遺産に指定され脚光を浴びている石見銀山を訪ねました。初日は抜けるような青空の下、汗ばむくらいのお天気に恵まれて銀山の街をてくてくウォーキング。石見銀山の歴史に詳しく、今回のレクのために何度も下見をしてさらに知識を豊かにされた会員さんの解説付きです。世界遺産センターにも立ち寄り、夜は“さんべ荘”で宿泊。秋の味覚を盛り込んだ夕食後は、「すこやか演芸会」で大笑い！　お部屋では日頃の自己管理の様子などを夜が更けるのも忘れて語り合い、翌日は温泉津めぐりでお土産も両手にいっぱい買い込んで…今年も大満足の一泊レクでした。

あゆみ会　秋のレクリエーション

「県立古代出雲歴史博物館」と「しまね花の郷」へ行ってきました!!

人工肛門・人工膀胱をもつ患者さん方をオストメイトといいます。当院には、オストメイトの方々が交流を行う場として「あゆみ会」があります。

去る九月二十日(日)に、恒例の秋のレクリエーションが開催されました。今年は「県立古代出雲歴史博物館」と「しまね花の郷」へ行ってきました。博物館では、古代出雲を感じる様々な展示を見て楽しみ、花の郷ではコスモスが満開でとても綺麗でした。フロアーには押し花で作った絵画も展示してあり、色鮮やかな花の特徴を生かした絵を会員さんも興味津々で見ておられました。

前日までは、台風の影響が心配されていましたが、当日は快晴。夏が戻ってきたかのような暑い日でしたが、それも吹き飛ばす元気いっぱいの会員さんの笑顔が拝見できました。一日があっという間のとても楽しいレクリエーションとなりました。